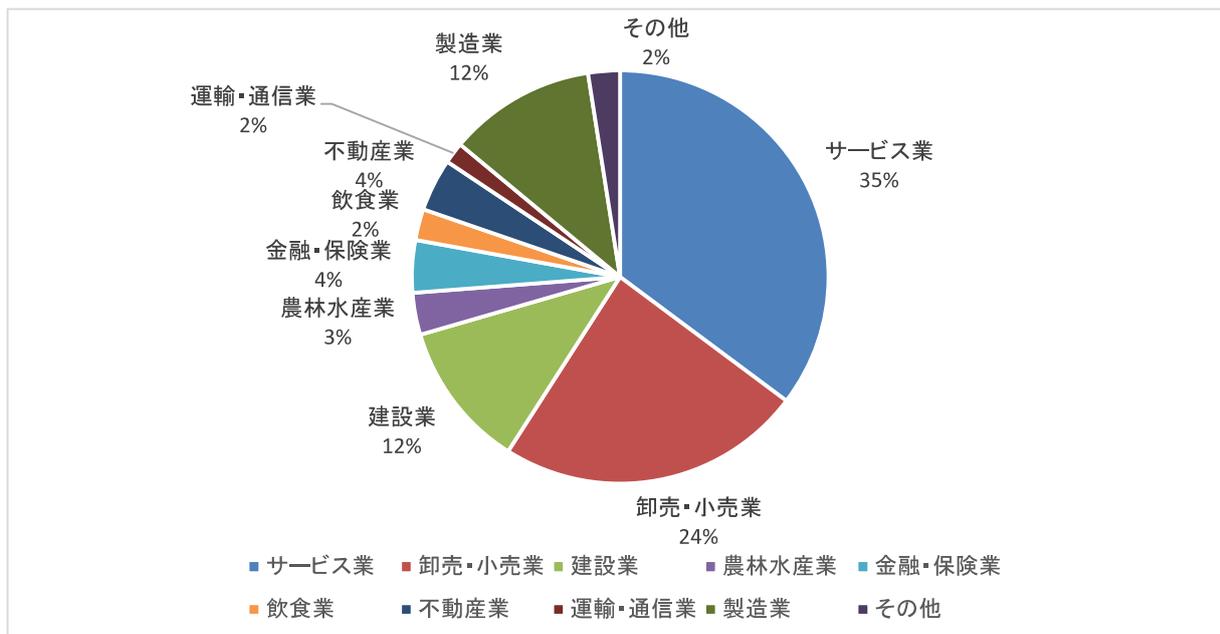


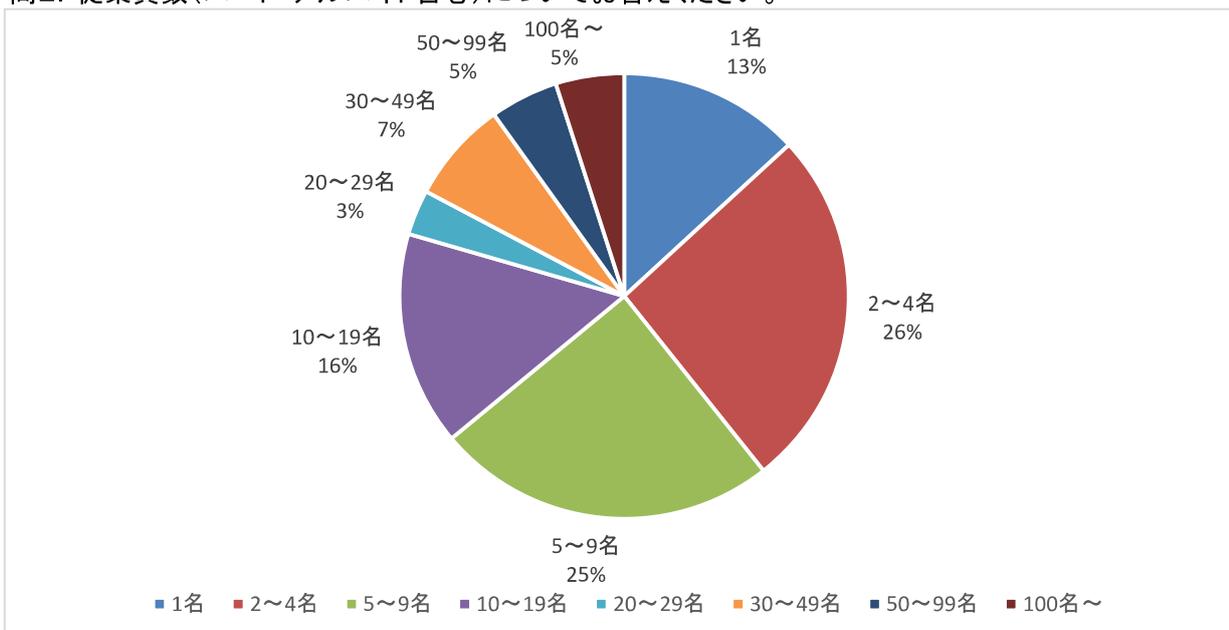
香川同友会 <第4回>新型コロナウイルスの影響に関する緊急アンケート調査結果

- 1.調査期間 2020年7月3日～7月10日
- 2.調査方法 e.doyu(グループウェアによるアンケート)
- 3.調査対象 香川県中小企業家同友会会員 1560名(7月10日現在)
- 4.回答数(%) 122名(7.8%)
- 5.問3～問6の比較対象 第1回調査期間(2020年3月3日～3月10日)
第2回調査期間(2020年4月10日～4月20日)
第3回調査期間(2020年5月19日～5月28日)

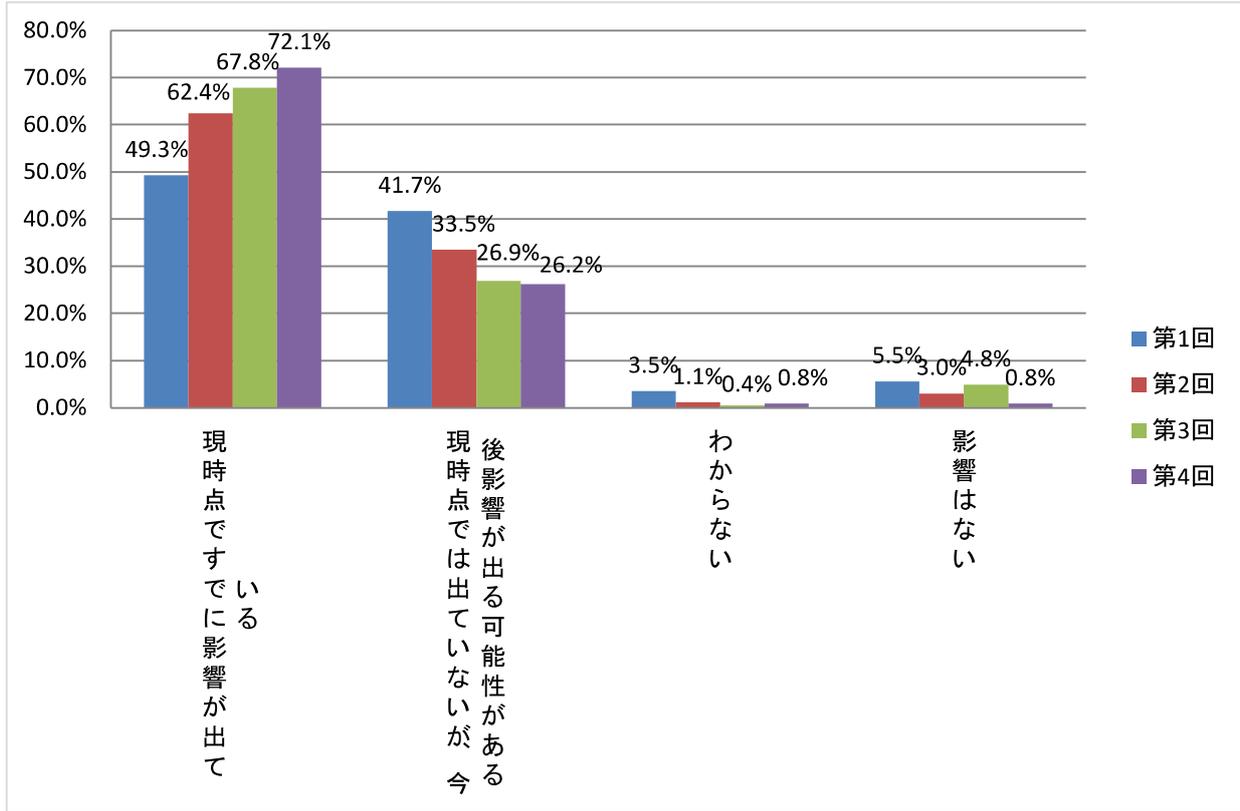
問1. 主な業種をお答えください。



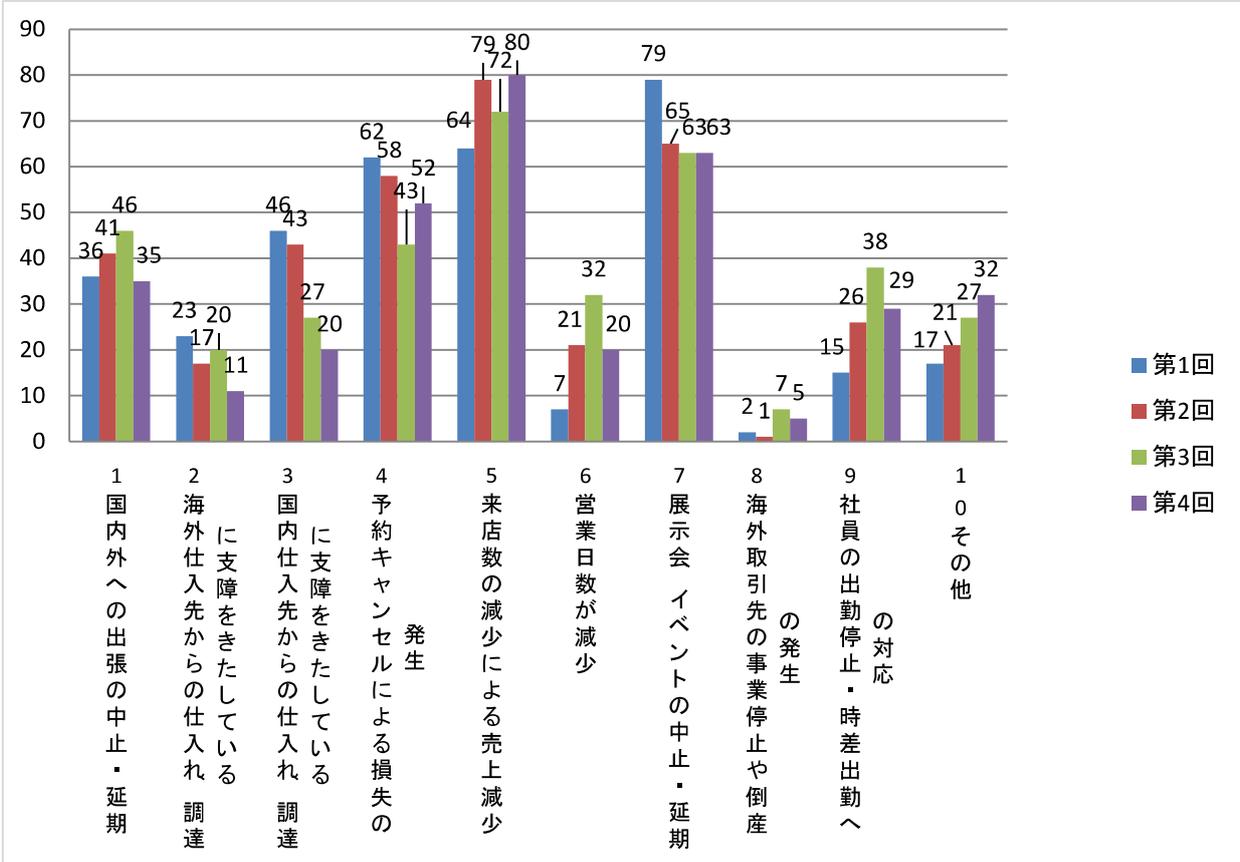
問2. 従業員数(パート・アルバイト含む)についてお答えください。



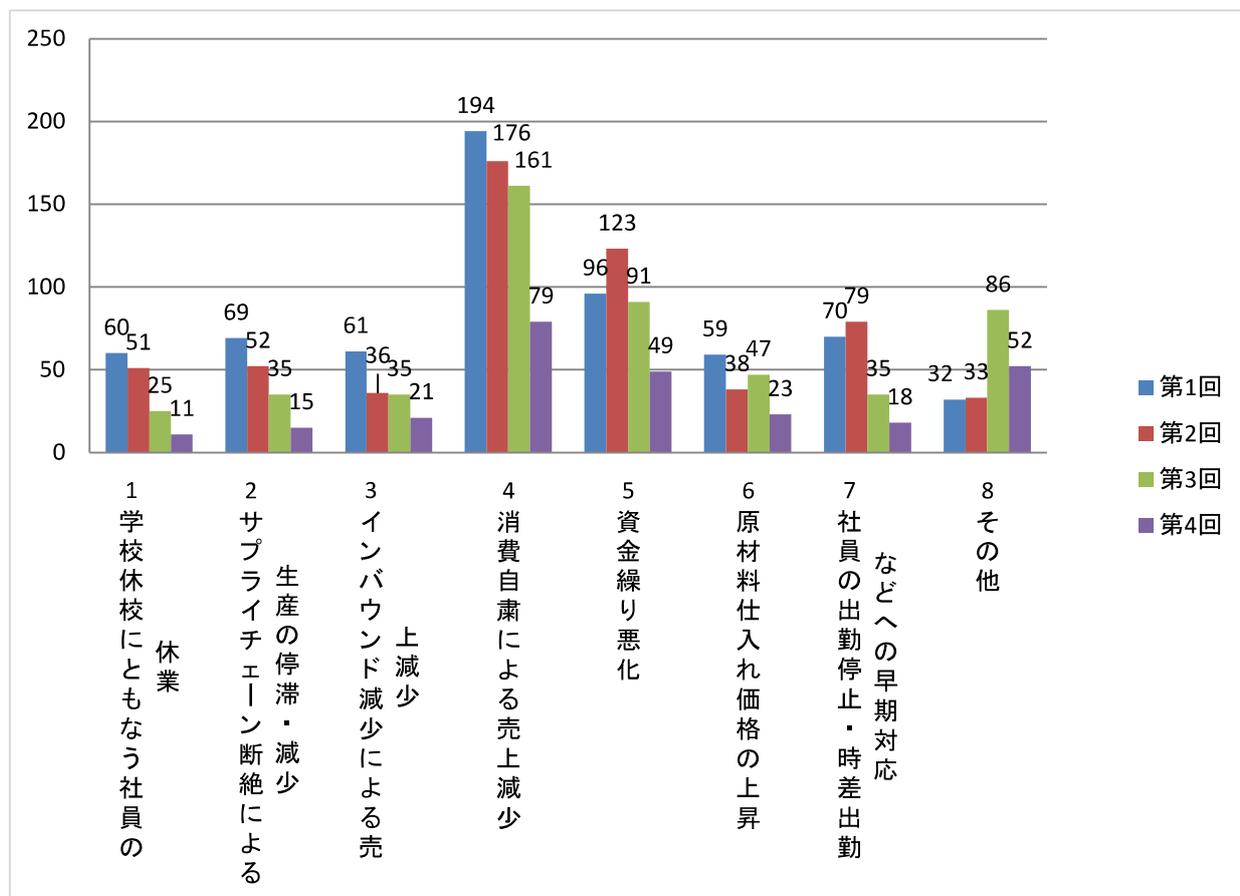
問3. 新型コロナウイルスの感染拡大は、貴社の経営や業界に影響はありますか。



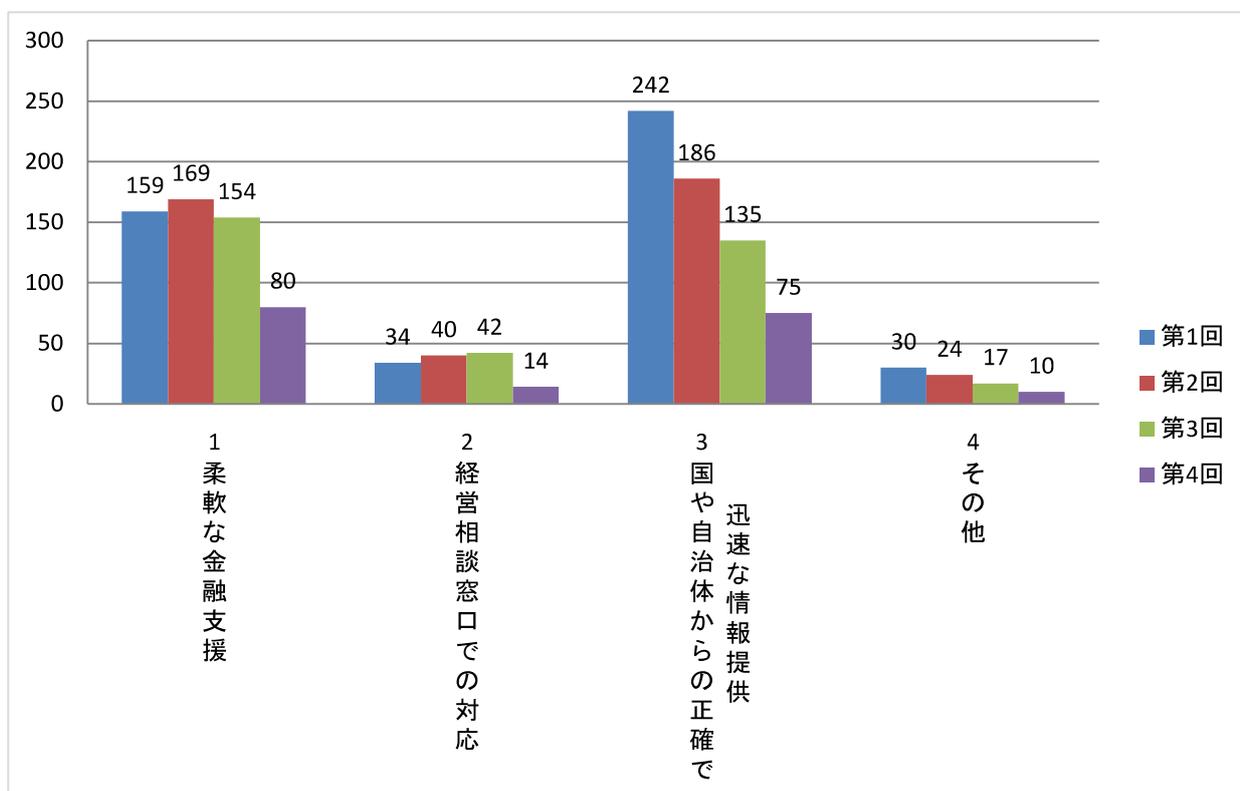
問4. 問3で「1」と回答した方に伺います。具体的にどのような影響が出ていますか。(複数回答)



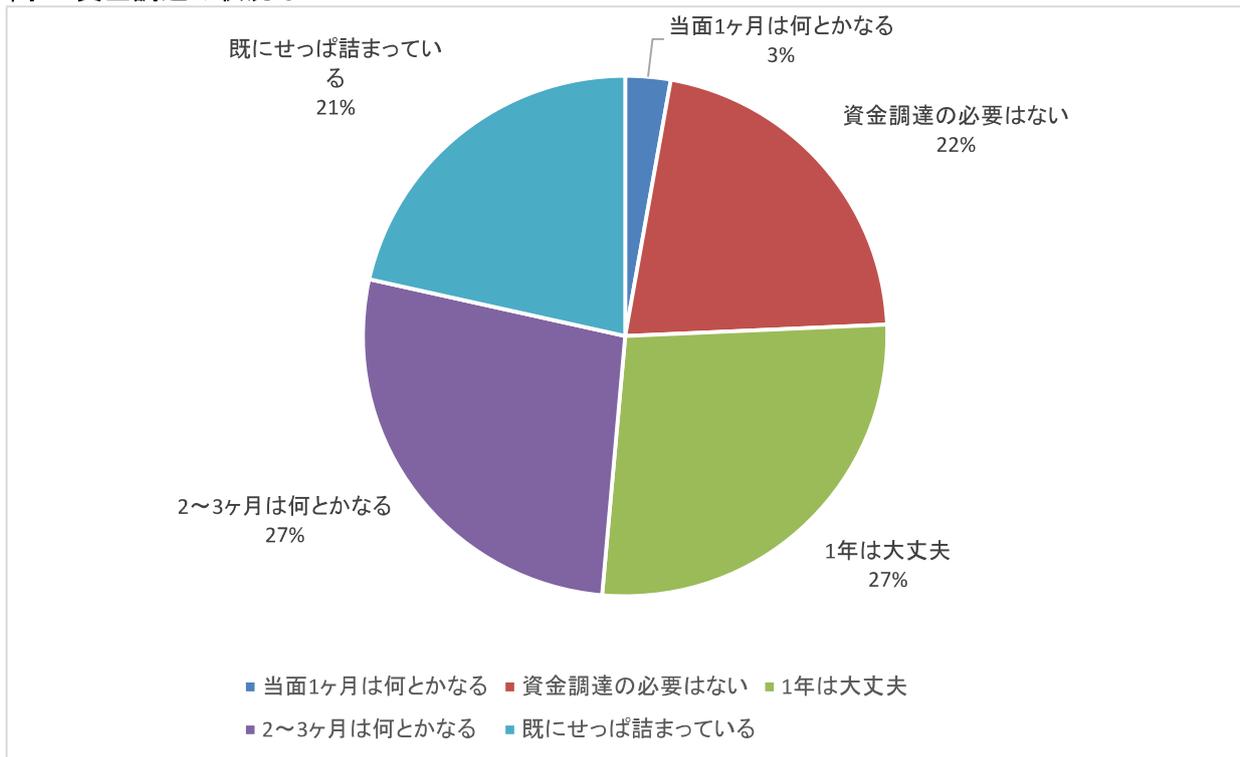
問5. 新型コロナウイルスへの今後の影響について、どのような懸念をお持ちですか。(複数回答)



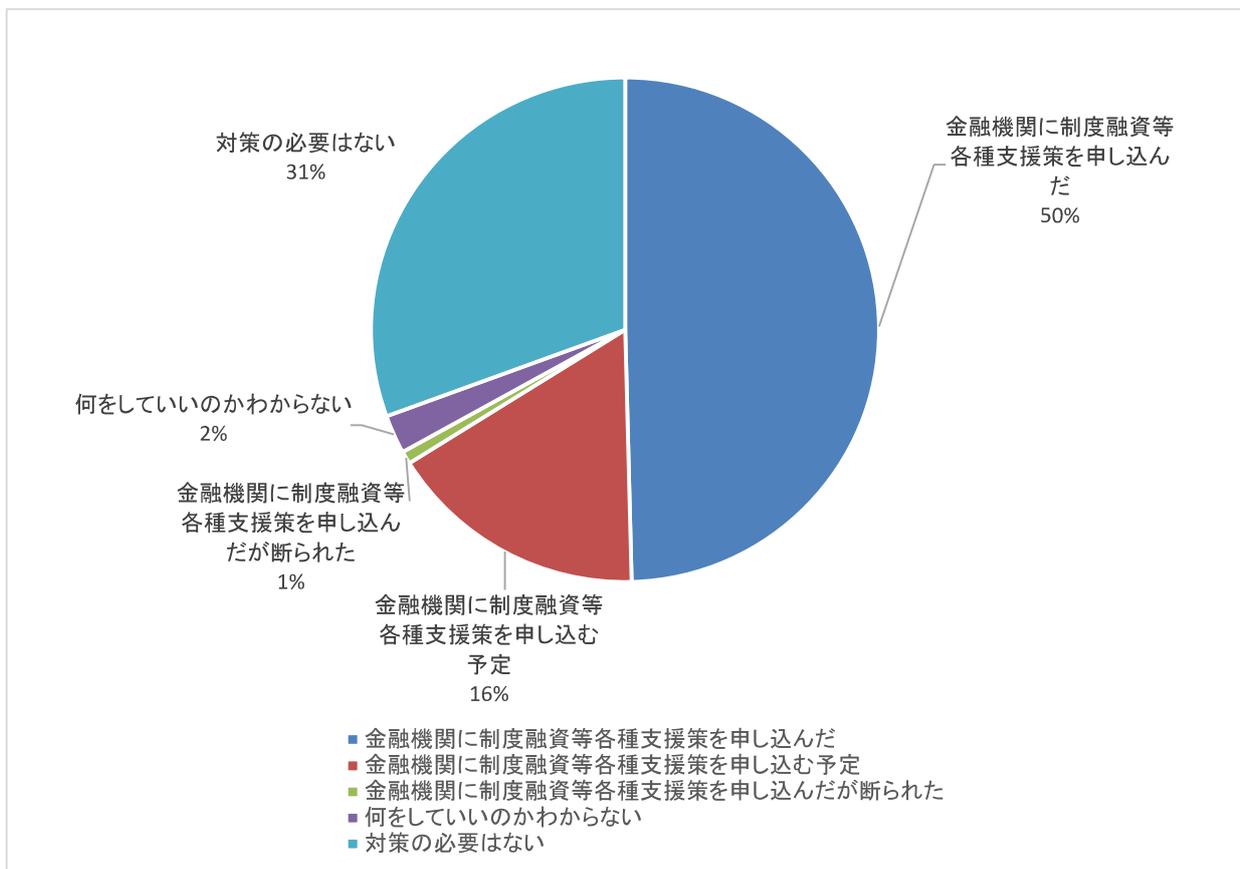
問6. どのような支援が必要ですか。該当するものを全て選択してください。(複数選択)



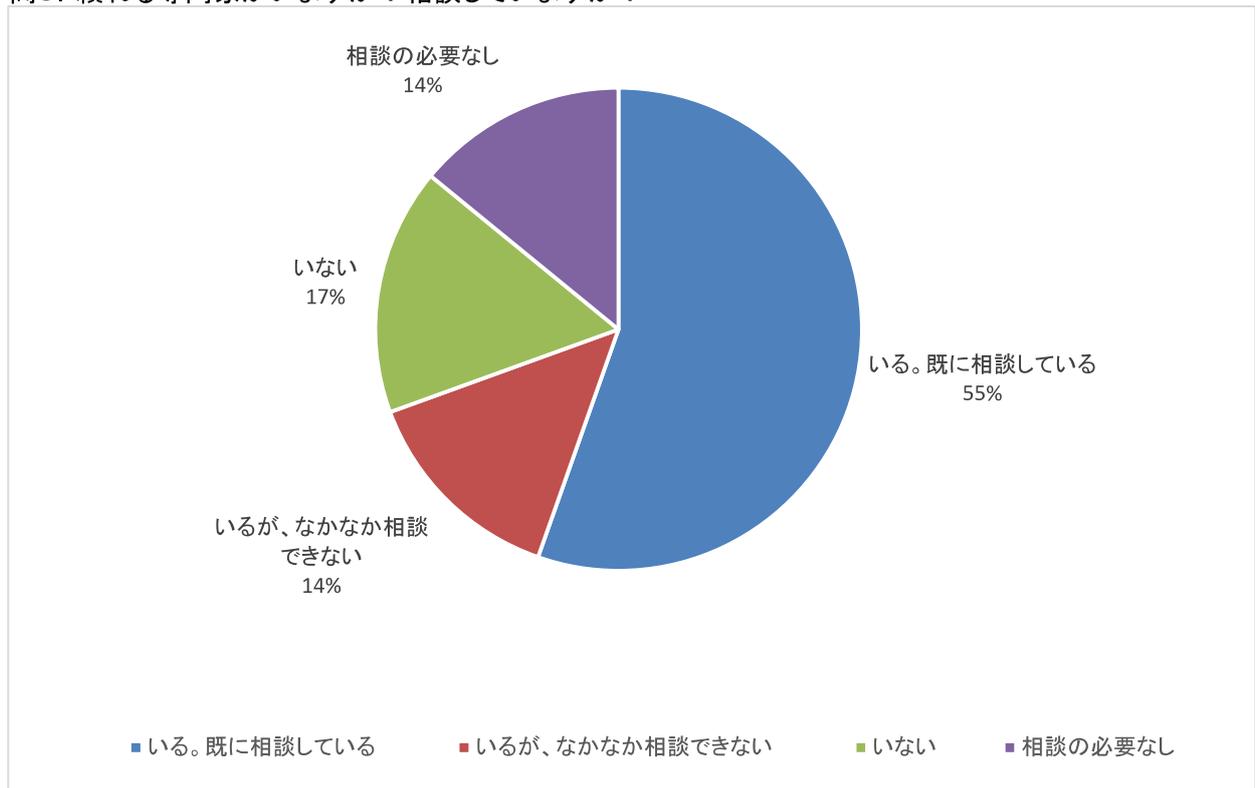
問7. 資金調達状況は？



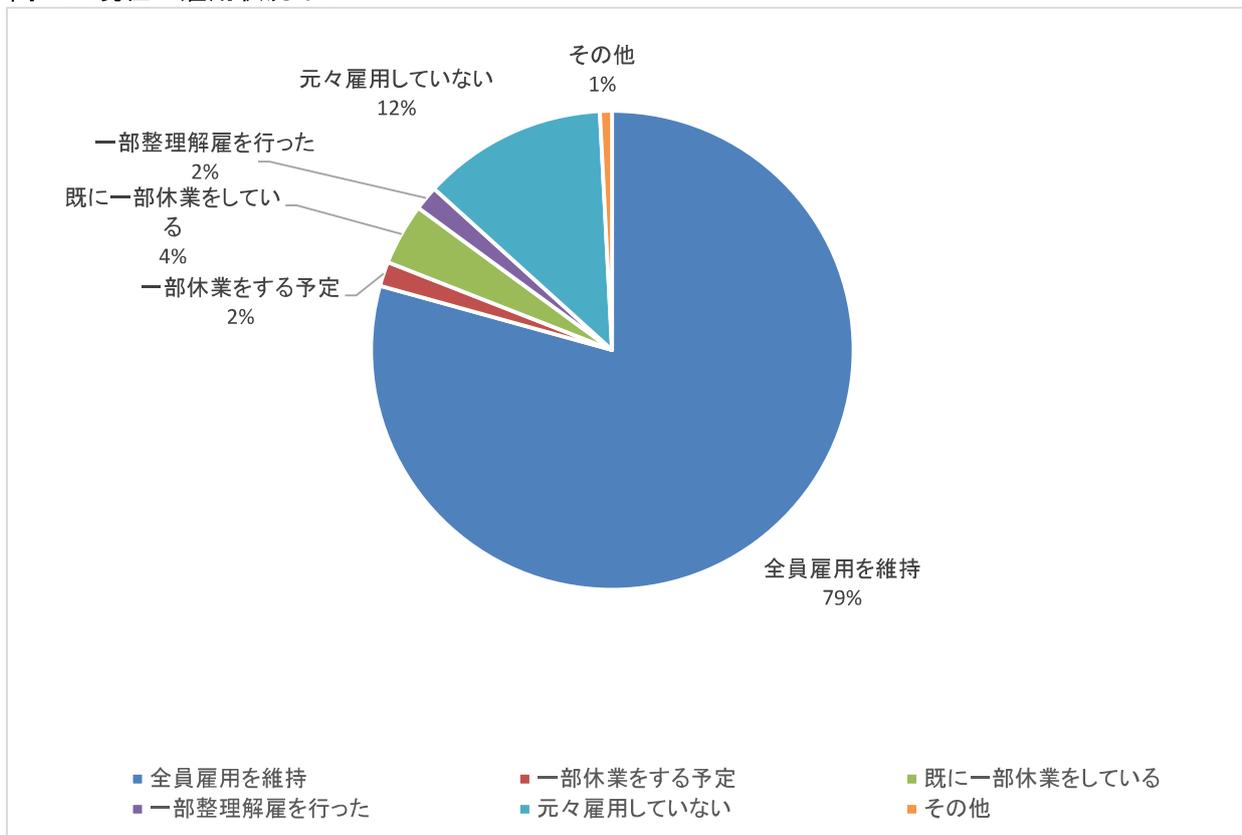
問8. 具体的対策を打っていますか？



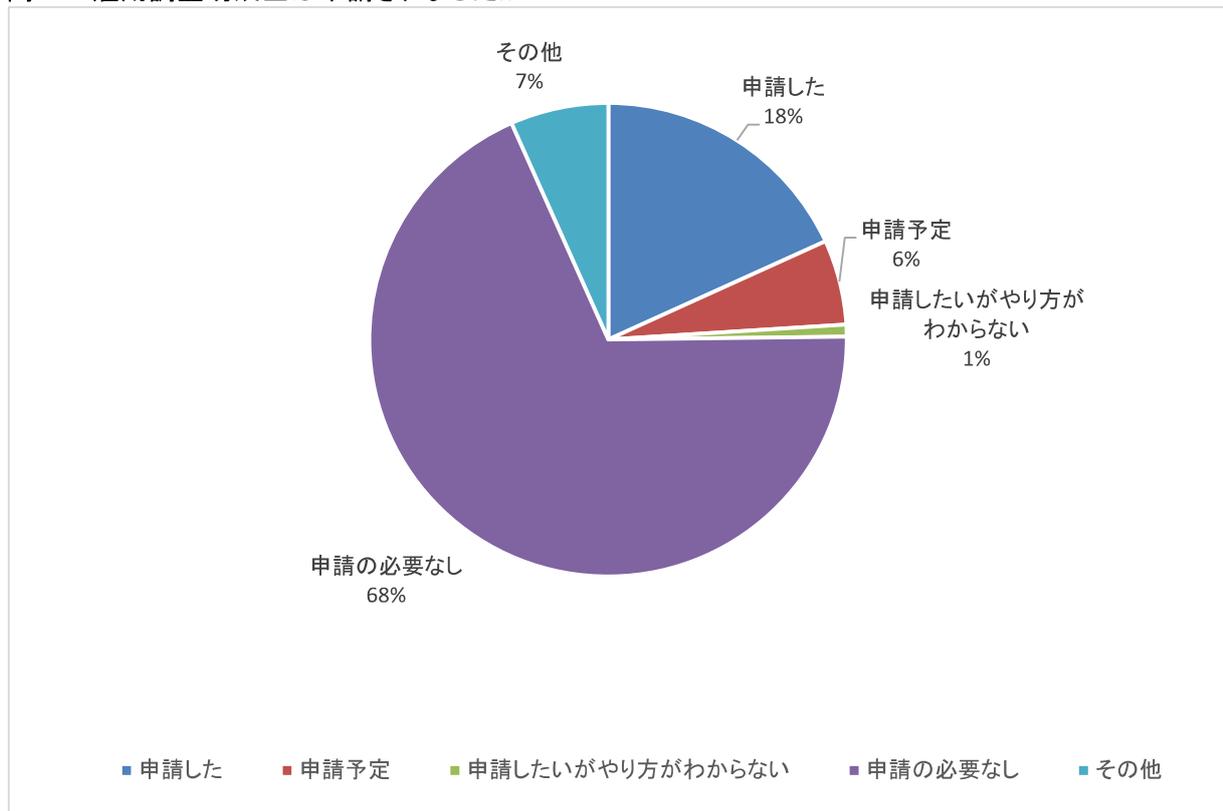
問9. 頼れる専門家がいますか？相談していますか？



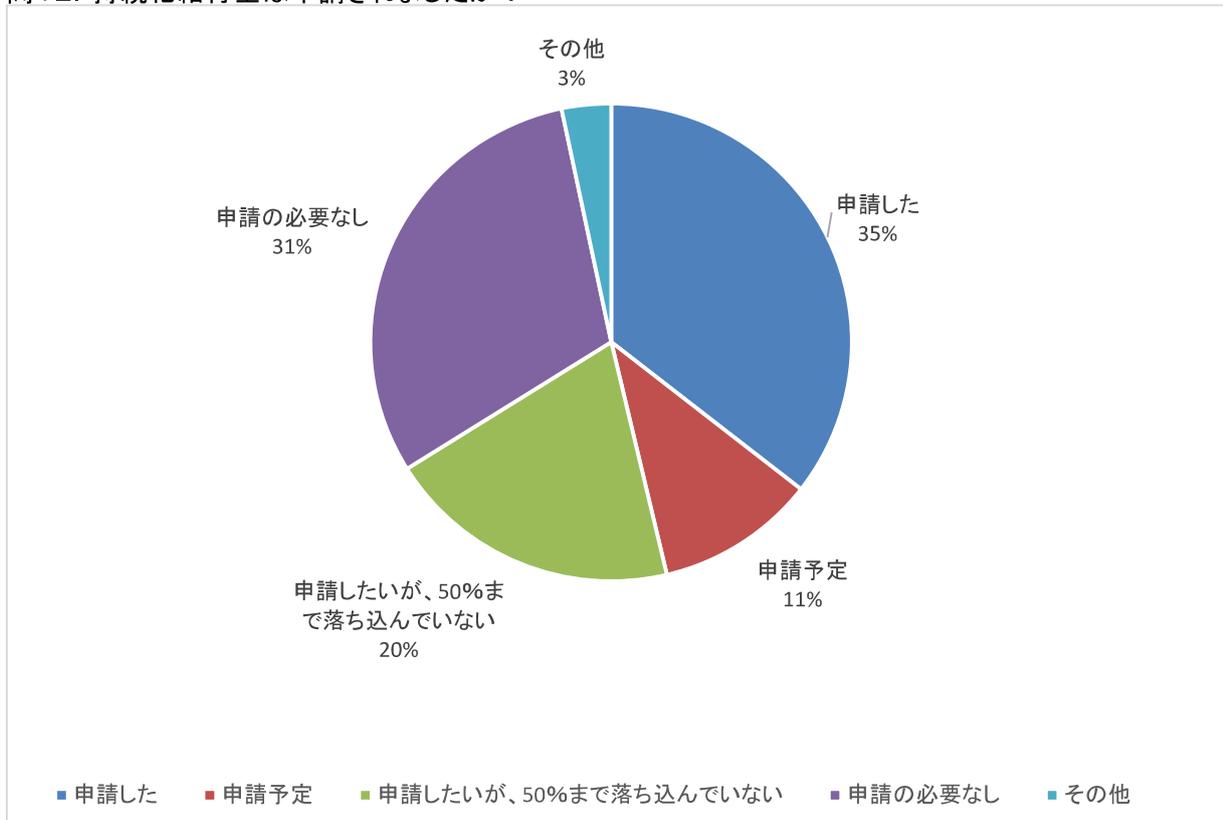
問10. 現在の雇用状況は？



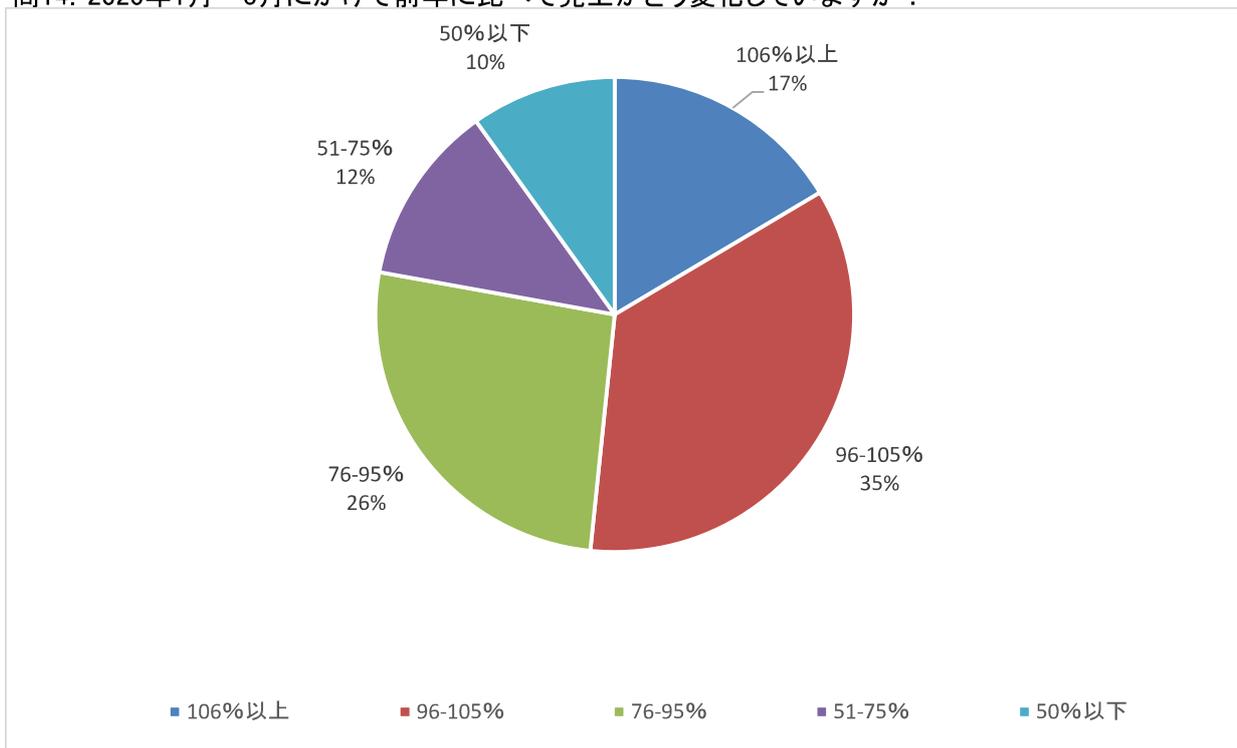
問11. 雇用調整助成金は申請されましたか？



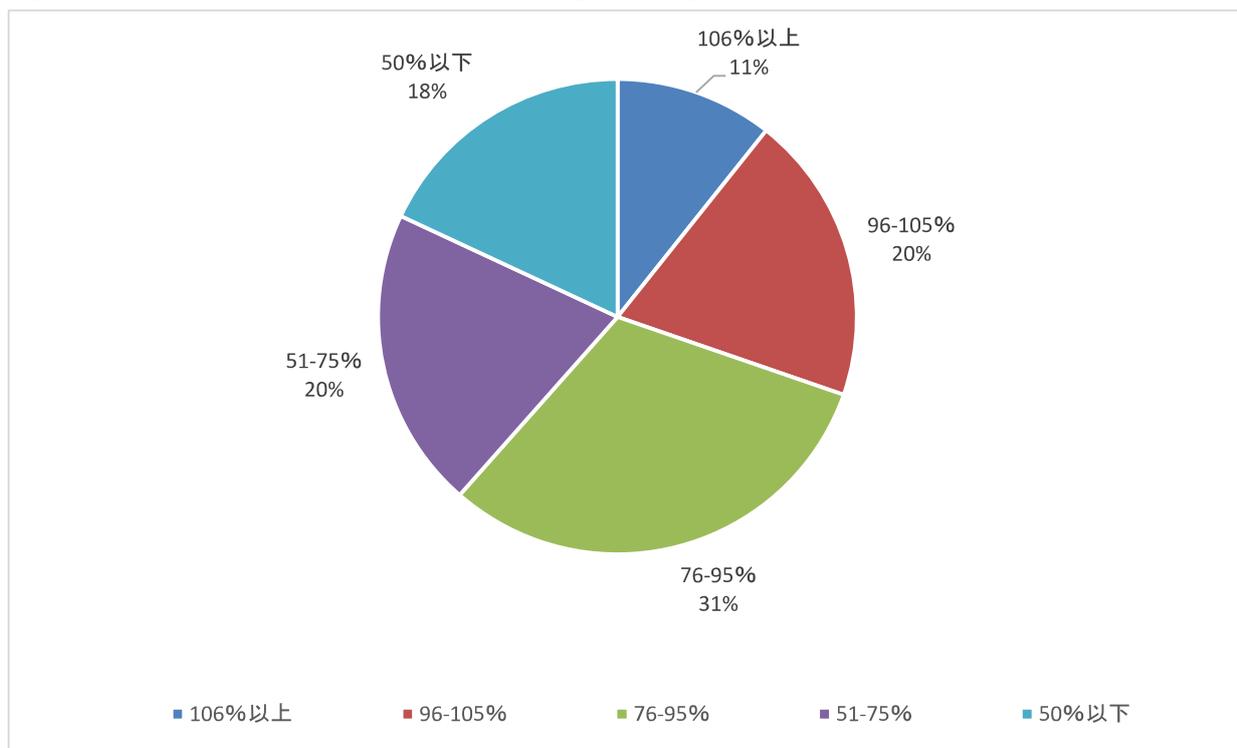
問12. 持続化給付金は申請されましたか？



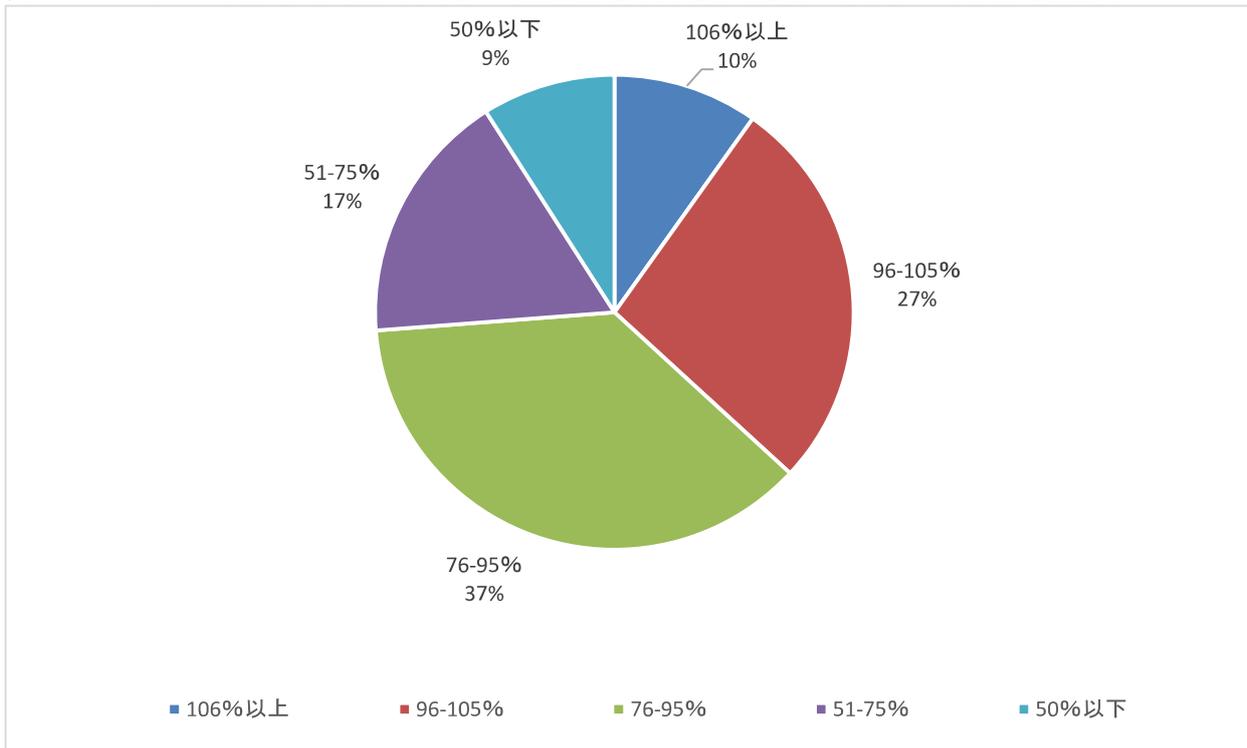
問14. 2020年1月～3月にかけて前年に比べて売上がどう変化していますか？



問15. 2020年4月～6月にかけて前年に比べて売上がどう変化していますか？



問16. 2020年7～9月にかけて前年に比べて売上がどう変化するとお思いますか？(予想・見通し)



記述回答・問 13・問 17 記述回答

問 13 これまでの行政の対応で良かったことは何ですか、また、こうして欲しかったとの改善点があればお答えください。

良かった点

- ・支援金は充実したと思います。
- ・弊社は直接関係ありませんが、県が雇用調整助成金に県独自の上乗せをしたことは県の本気度が伝わってきました。
- ・国の対応を受けての県・自治体が上乗せ対応したのは良かった。
- ・制度融資の対応は良かったと思う。
- ・国の施策に県や市町が連動していること
- ・補助金などで対応したこと
- ・花卉業界においては農林水産省の「母の月」等の PR に効果があったと思います
- ・10 万円支給、香川頑張る企業への総合助成金、融資の条件緩和
- ・持続化給付金の支給スピードが速かった。各種補助金を準備してくれていること。
- ・給付金はありがたかった。
- ・新型コロナに対する対策ガイドランが出てどのように行動するのが正しいのかが理解できました。
- ・日本政策公庫の特別融資はスピード感もあり、助かりました。
- ・当社としては情報公開など迅速であったと思っています。
- ・持続化給付金や雇用調整助成金などの施策はありがたいと思っています。
- ・申請が集中して大変な中、猶予特例の手続きをいつもより迅速に対応して頂いた。
- ・様々な危機に支援策をしてくれたことは助かる。
- ・政策金融公庫の迅速な対応が有り難かったです。
- ・持続化給付金が迅速に支給された。
- ・持続化給付金の申請から入金までが早く助かりました。
- ・無利子の融資
- ・経産省や香川県での持続化給付金。
- ・高松市の家賃給付金が 30%ダウンでも頂けたので 10 万円が有り難かった。
- ・介護においては今のところほかの業種と比較すれば恵まれていると思う。
- ・給付金のオンライン申請は助かりました。
- ・助成金は助かりました。
- ・持続化給付金など添付書類が簡単なもの(メモ程度のもの)でも受理されたところ。
- ・助成金の申請手続きが簡略化されたのはいい。
- ・日本政策金融公庫から新規の短期融資を得られた。
- ・香川県の自粛要請が早い段階でできたのはよかった。
- ・持続化給付金の対応では窓口からのメール問い合わせの送信時間が朝方だったり、県の窓口も夜半まで連日の対応を県庁総出で対応するなどして、がんばってくれている姿が見えて勇気をもらえました。

- ・対応が遅いと感じたが、おそらく今回はそれも仕方のないことかと思います。
- ・助成金。
- ・香川県独自の持続化給付金は大変ありがたかったです。
- ・行政の側も危機感を持って、スピーディーに対応していると感じる。
- ・一連の給付に関する対応は早かったと思っています。
- ・政策金融公庫からの借り入れ・持続化給付金の対応が早かった。
- ・雇用調整助成金の特例延長、香川県持続化応援給付金が申請から 1 週間で入金した。
- ・弊社は、意外と申請から入金迄、スムーズに早かった。
- ・特定定額給付金(10 万円)
- ・持続化給付金の給付が非常に速かったのが助かりました。
- ・金融機関からの融資が受けやすくなっている。
- ・持続化給付金は助かりました。
- ・売上減少でない企業にも前向きな経営のための支援するのはよいと思う。
- ・定額給付金。
- ・金融支援の制度があるのはありがたい。
- ・持続化給付金、申請後素早い対応をして頂けたので助かりました。
- ・丸亀市事業者応援給付金が迅速に振り込まれた。
- ・県独自の助成制度が実行されている点は評価できます。
- ・速やかな自粛勧告を行ったこと。PCR 検査が多数できるようになったので、細やかな業種別や地区別の自粛勧告ができると思う。クラスターを防ぎながら経済活動ができるはず。
- ・各種給付金は助かった。
- ・持続化給付金の申請をして 6 日後には入金があり感激した。また、コールセンターの対応も丁寧で親切であった。給付金は未集金入金までのつなぎとして、社員の給与と賞与など固定費(人件費)の資金に充当できた。
- ・10 万円の一括給付、賛否はあるが個人的には色々な意味で刺激になって良かったと思います。
- ・ロックダウンでなく自粛要請程度の対策が良かった。
- ・マスク配布の決断。迅速に配れなかったのがダメですが。
- ・直ぐに対応してくれた。
- ・お金を配るのは良かった。
- ・協力金や給付金の対応が早かった。
- ・国や県の支援とは別に、市町村独自の支援策を実施したこと。(休業補償など)
- ・10 万円の支給で、社員さんたちの雰囲気少し和らいた。
- ・10 万円の給付金。
- ・国のドタバタや住民からの非難にもめげずよくやってくれている。
- ・書類提出不備に迅速な対応していただきました。
- ・給付金の支給。

改善点・要望・不満

- ・税金の据え置き策利用の仕方がよくわからない。
- ・政府の方針として人命と経済のバランスをどうとっていくのか？国民に任せるのであれば任せるで、指針を示して欲しい。このままでは生殺しになってしまいます。
- ・とにかく、早く。
- ・給付金の入金に1か月以上かかった。アベノマスクは不要だった。
- ・現在と同様に積極的な補助金を出していただけると助かる。
- ・複数店舗(事業所)経営の場合は、規模感や社員雇用数に応じた支援をお願いしたい。
- ・持続化給付金が50%以下しかダメ。と県の営業自粛給付金が複数店舗でも各1店舗ずつがあっても良いのでは？
- ・50%というボーダーで切るのではなく、売上・利益が減少している全ての企業に対して対応して欲しい
- ・給付金や助成金は規模問わず上限同じというのは厳しい。
- ・持続化給付金を数カ月に一度申請できるようにして欲しい。
- ・給付について遅い。オンライン申請がサーバ負荷の影響かつながらなかった。
- ・補助金助成金の早期支給を求めます。
- ・税制の軽減策との両輪で考えたほうがよかったのでは。香川県の危機感が薄い。
- ・無。売上が前年月対比がずっと50%以下では無いので補助金を申請出来ず資金繰りが苦しい。もっと柔軟に対応してもらいたい。
- ・事業再生中の為、去年が80%ダウンしていたので今年は最大そこまで落ち込まず持続化給付金は頂けなかった。
- ・エッセンシャルワーカーには毎月特別手当を上乗せしてほしい。
- ・早い決断を
- ・連携が取れて一度にできると尚よい。
- ・申請のために店を閉めて動くのが難しい。
- ・補助金や給付金の制度がわかりにくい。
- ・個人事業主で届出住所と事業所の場所が同一でない為、コロナ支援の助成金が取れなかった。
- ・柔軟な施策
- ・正確な情報を早めに提供してほしい。
- ・雇用調整助成金が5月は申請から1か月以内に入金があったが、6月は1か月をすぎても入金していない。
- ・売上は以前まで回復するにはまだ時間がかかりそうですが(半分まで落ちてはいないが)社員は現状維持で大変です。税金等で優遇して欲しい。
- ・素早い情報提供やシンプルで使いやすい制度が必要。
- ・今後は個人ではなく、法人に更なる補助をお願いしたい。
- ・今後社員を雇用を継続していったる会社(雇用継続)にも何か考えてほしいです。
- ・消費者の消費意欲が復活しないと好況にはならないので、消費税を廃止するなど思い切った政策に期待する。
- ・税金、社会保険面での控除などを検討してもらえると助かります。
- ・コロナに影響受けていない業種も感染症応援対策助成金が欲しい

- ・よかったことは感じない、もっとスピード感を持った動きが欲しい。
- ・持続化給付金の申請を郵送可にして欲しい。
- ・持続化給付金については素早く対応して下さっているようですが、実際の所、約1ヶ月とかなり時間が掛かっているのので、経済的に間に合わない。もっと迅速な対応をお願いしたいです。
- ・ヘルパー人員基準の緩和。仕事が減って基準を下回ったので。
- ・その場の雰囲気によって政策が決まっているような感じがした。
- ・お金の使い方には疑問が残る。”
- ・持続化給付金の制度自体はいいが50%では影響が大きすぎる
- ・助成金、支援金の厚労省などからの県、市への流れがスムーズでない。
- ・持続化給付金をもう一度
- ・早めに対応してほしい。

問17 今、一番困っていることは何ですか？

資金繰り

- ・資金ぐり
- ・資金繰り
- ・更なる緊急融資を受けれるかどうか。
- ・資金繰りの悪化。

人材

- ・人手
- ・人材確保
- ・人材不足
- ・人材不足。人を増やしたいが売り上げが安定せず実行できていない。
- ・人員の確保
- ・人財不足
- ・人財確保
- ・人材
- ・コロナとは関係ないが人材不足

売上・客数の確保・顧客と会えない

- ・売上の減少
- ・客数減少
- ・顧客離脱。
- ・売上げが減少しているにも関わらず、対応や対策の余分な出費がある。
- ・売上減少
- ・売り上げ減少
- ・来店客数の減少
- ・売り上げ

- ・イベントの中止などで新規見込み客づくりができていないため売り上げ確保に苦心しています。
- ・今でも営業訪問を嫌うお客様がいる。当社の業務の性質上、お客様毎に提案内容が違うので、実際訪問して話を聞かないといけない部分がある。早く通常の経済状態に戻ってほしい。
- ・業務用の顧客(料飲店様)の売り上げが上がらない。宴会の予約が激減状態。
- ・創業2年なので、前年比での売り上げは減少していないが、今年の1~3月に比べると4~6月の売り上げが減少している。こうした場合の助成制度が欲しい。
- ・土木部門では公共工事が減り、石油部門では燃費向上による燃料消費量の減少やディーラーの点検パックによりガソリンスタンドでのオイル交換などの減少と、世の中の消費体型が変化してきている。新型コロナウイルスは、自社や業界の課題をより早く顕在化させたと感じている。
- ・コロナ自粛で来客が減少している
- ・仕事の減少
- ・個人のお客様への営業
- ・新規顧客開拓
- ・新規事業として何をやっていくか
- ・継続した顧客とのつながりによる売り上げ

消費マインド低下・自粛ムード

- ・自粛ムードによる消費の落ち込みの長期化、「自粛」を正義と考える国民の心
- ・消費に対するお客様の気持ちの低下やコロナ対策による店頭での感染防止策が日常営業にやや差し障ることなど
- ・県外に移動できないこと。デマや嘲笑を恐れるあまり、積極的にならないこと。

先行き・感染不安

- ・終息の見込みがないので、販促計画が立案しにくいこと。
- ・3ヶ月先の見通しが立たない
- ・仕事がない。先行きも不透明。オンライン化を急いでいるが軌道に乗るかどうかが不明。
- ・営業活動自粛の継続と第二波到来による緊急事態宣言発出の可能性により予測が難しく、先の見通しが不透明であること。
- ・第2は波が来たとき、来年の春インフルエンザとコロナが重なったときの経営悪化
- ・今は落ち着いてはいるが、県外からの感染者がいつでるか分からないので落ち着いてレクや慰問等のイベントが出来ない。
- ・感染拡大の終息のめどが立たない点。第2波も心配。
- ・ゴールが見えない・市場がどこまで回復するのか分からない。
- ・来年以降どう売り上げを確保するかが心配
- ・経済復活の目処が立たない
- ・売上回復見通しが立たないこと
- ・先の見通しが立たないこと。
- ・感染者がでた場合の事業継続
- ・感染者発生時の対応

・3 蜜をさけて、とかで、できるような仕事ではないこと。医療関係なので閉めるわけにいかないのに、社員さんの一人でもコロナに感染したら、全員が PCR 検査を受けることになり、社員さんたちが陽性になった場合は、お店を閉めざるを得なくなること。

その他

- ・いろいろな情報が飛び交い過ぎ。国の責任、県の責任などそれぞれの役割がとても曖昧。
- ・東京都と大阪府の対応の違いと言えはいいのか？”
- ・国や行政が経済を回していくという事は分かりますが、あまりにも状況を考えずに強引に押し進めることは反対です。それにインバウンドはもう結構です。国内で回しましょう。インバウンドは国力を弱めます。
- ・希望する物が入荷できない 感染防止ガウンやプラスチックグローブなど
- ・異常気象がコロナ以上に経営に影響を及ぼしています。
- ・在宅勤務への移行に伴う業務の振り分け
- ・社員に危機感を共有してもらう事。